

【1・17 ひょうご安全の日】

6,434人もの方々が亡くなり、10万4,906棟もの家屋が全壊した阪神・淡路大震災から16年が経ちました。17年目を迎えて、各地で追悼行事が行われる中、大成中学校でも半旗を掲げ、地震・津波防災訓練を行いました。また、1年生の道徳の授業では、阪神淡路大震災で救助活動に当たったレスキュー隊員の苦悩を共有しながら、「命」について学習しました。震災の教訓を継承し、命の重さを感じ、人と人とのつながり、絆、助け合う心などを忘れない日として、『1・17ひょうご安全の日』の追悼行事を続けたいと思います。

皆さんの家庭でも、大災害に備えて非常用の物品を常備したり、家族がばらばらになってしまった時の集合場所などを確認したりしておきましょう。何事も“備え”が大切なのです。

ところで、今回の避難訓練では、反省すべき点があります。グラウンドへの退避は、約4分で完了したので、ギリギリ合格です。しかし、その後の集合・点呼に時間がかかってしまいました。原因は、一部生徒のいい加減な行動です。非常時にも冷静に考えて、安全に行動できるように訓練をします。いい加減な行動は、自分自身の命だけでなく、周りの人たちの命まで危険にさらすことになるのです。全校生徒の安全に関わる問題で、“その時になればできる”というような、なんの保証もない、いい加減な言動は許せません。“その時になればちゃんとできる”などと言って、注意されてもだらしのない服装でちゃらちゃらしている生徒が、実際の入試面接で失敗するのはレベルが違います。“最終的には自己責任”では済まないことと理解して欲しい。



【自転車と石けん3個】(素直な心と荒れた心)

17日の朝、JR尼崎駅から歩いて学校に向かっていました。気が付くと一人の女子生徒が、自転車を押しながら歩いて登校しているではありませんか。おそらく部活動で他校に練習に行くために、自転車登校をしているのでしょう。意地悪な校長先生は、「いつ乗ってこぎ出すのかな、注意してやろう。」とバレないように、後をつけて行きました。でも、その女子生徒は最後まで自転車を押しながら校門をくぐりました。校長先生は自分が恥ずかしくなりました。ゴメンナサイ。部活動の予定表を見ると、女子バスケット部、男子バスケット部、男子バレー部の生徒が校外に出ていました。女バスの生徒、エライね！絶対強くなると確信しました。

さて、気持ちよく始まった1日でしたが、放課後、手洗い場の石けん3個が、投げ捨てられてありました。女子トイレのペーパーホルダー1個も壊されていました。“他の人が困る”のを“喜ぶ”なんて最低だと思う。“困る”ということ想像できないなら、これも情けない。

家の石けんを投げ捨てたり、トイレをわざと壊すアホな子はいません。結局は自分勝手だな。友達なくすよ。



【受験本番～他人任せにしないで～】

2月10日に私立高校入試、14日には公立高校推薦・特色選抜入試。今までなかなか実感できなかった“入試”が、現実のものとして目前に迫っている。今は、願書を整えたり、面接練習などを行っているが、少し厳しさが足りないように思う。“何とかなる(してくれる)”という根拠のない確信を持っている生徒が多いことに、まず驚かされる。学校で、スムーズに学習や行事などを進行させるために、“お膳立て”をしすぎていたかもしれない。日常生活の中でも、例えばプリントを忘れたらすぐに新しいプリントを渡したり、提出期限が過ぎても受け付けたり、“よかれと思って行っていること”が、甘えを生んでいる。同時に“子どもに辛い思いはさせたくない”という親の思い(愛情)から、子どもが失敗しないように、手をさしのべすぎる家庭もある。学校と家庭で、手をかけすぎて自立を遅らせているのなら、看過できない問題だ。しかし、今から突き放しても、不安を煽るだけ。“募集要項をしっかりと読みなさい。説明をしっかりと聞きなさい。まず自分でやいなさい。”という指導を徹底するしかないのかと思うと少し情けない。



【学校でボタン付け?】

私立高校を受験する生徒が、願書を取りに行った日のこと。朝から“ボタン付けて”とか“破れたところを縫って”などと言ってくる生徒が何と多いことか。“家で(自分で)付けなさい”と言えば、“学校は何もしてくれない”と言う。ぜひご家庭で子ども達の制服を点検して下さい。ボタン付けや繕いなど、してやって下さい。

【語る会】

1月の「語る会」を28日金曜日、午後7時から図書室で行います。小学生のお子さんを持つ保護者から、もう少し早い時間にならないかという要望がありましたが、本年度は7時で続けたいと思います。申し訳ありません。

